

三次市障害者支援センター講座（第3回）
8050問題をはじめとする複数の課題を
抱える当事者及び家族の支援について

講師の山根先生は、山口大学大学院教授として、SDS(社会的距離症候群)のシステム開発講座を担当されており、システム啓発のため、多くの自治体で積極的に講演活動が行われているかたわら、NPO 法人を自身で立ち上げ実際に多くの当事者、家族の相談に乗り、その人が自分らしい生き方ができるように日々活動しておられます。どの人にも必要な「行き場」「生き場」「生き場」づくりのプロフェッショナルの生の声を聞いてみませんか？



講師
山根 俊恵 さん

とき 2024年2月4日(日) 13:30~15:30
ところ みよしまちづくりセンター ペペらホール
対象 どなたでもご参加いただけます
参加費 無料 **申込期限** 2024年1月31日(水)
*オンライン参加も可能です
(オンライン参加の場合は、必ずメールアドレスをお知らせください)

●プロフィール
山口大学大学院医学系研究科保健学専攻教授
山口大学医学部 SDS 支援システム開発講座教授
NPO 法人ふらっとコミュニティ理事長
株式会社いちから取締役

QRコード、TELまたはFAXにて
三次市障害者支援センターへお申込みください



申込み用 QR コード

みんなの食堂

地域で生活するみんなの集いの場、つながる場として開いています。ちょっと暇な人、誰かと話したい人、お腹がすいた人など、**どなたでもおいでください。**お待ちしております。

毎月第1火曜日開催

開店 午後5時00分 閉店 午後7時30分
みんなでいただきま〜す 午後6時頃

*ごちそうさまの後、みんなで片づけをして、レクリエーションをします。

お申し込みはこちら **参加費 おとな200円 こども無料**

当日申込も可能ですが、できるだけ前日までにQRコードから申し込めば、「参加予定日住所・名前・連絡先(電話番号など)」を、三次市障害者支援センターへお知らせください。
*電話 0824-65-1131 *ファックス 0824-65-1132
*メール support@p1.pionet.ne.jp



申込み用 QR コード



みなさん
ぜひ、おいでください
おまちしてます!!



これからの開催予定

- 1月9日(火)
- 2月6日(火)
- 3月5日(火)

三次市
障害者支援センターだより



2024年1月 No.75

〒728-0013
三次市十日市東三丁目14番1号
三次市福祉保健センター2階
TEL (0824)65-1131
FAX (0824)65-1132
E-mail support@p1.pionet.ne.jp
URL https://houkatsu-miyoshi.org



マヌケル君のひよっこり訪問

きょうは、大田幸町にある
“コージーガーデン”と“ゆうしゃいん CCM”へやって来ました。
農福連携がんばっています！ 6次産業をめざしています！ マヌケル君



コージーガーデン
ゆうしゃいん CCM 課長の藤川さん
*お問い合わせは
電話 0824-66-3555
FAX0824-66-2839
cozy@yuukifukushikai.com

敷地内には、住むところ、泊まれるところ、働けるところ、日中活動しながら過ごせるところがあり、利用者の生活に合わせた暮らしができるよう整備されています。

働く場所では、農作物の生産販売、レストラン運営、パンの製造販売等が行われています。

法人として、農福連携に力を入れており、農作物の生産だけでなく、食品加工、流通・販売にも取り組み、6次産業を目指しておられるそうです。

訪問した際は、ちょうど、吉舎町敷地で育てたカーターピーナッツを収穫後、豆をつるから外す作業をされていました。できあがった立派なピーナッツは、パンやお菓子に加工したり、レストランで使ったりされるそうです。

そして、大人気のトマト「あかまるこ」は今がちょうど収穫最盛期。完熟の状態収穫される「あかまるこ」はとってもあまくてフルーツのようです。今年は出来もよく、贈答品として、東京都への発送もされるそう。

利用者の方それぞれが、ピーナッツやトマト、クッキーやパンといった商品を大切に丁寧に扱われている姿を見て、購入者に喜んでほしいという思いが伝わってきました。

「農業」と「福祉」のそれぞれの広がりを推進し、農福連携等を地域づくりの核として取り組まれている事業所の暑いパッションを感じ、マヌケル君も元気をもらった訪問となりました。



パンの人気ランキング
1位 パニーニ
2位 チョコチップメロンパン
3位 きなこ揚げパン
パンは土日にレストランで販売のほか、ご希望があれば移動販売もします!



皆と楽しくやるためには、コツコツやらないといけないと思っています。



グラムを測ってパックに詰めています。



自分に任せてもらえる作業も増えて、やりがいを感じています。

三次市障害者支援センターでは、YouTube や インスタグラムでも情報発信しています。視聴は右の QR コードから、または YouTube で「マヌケル」を検索してください。



ファミリー

みなさんあけましておめでとうございます。

みなさん、昨年一年間は怎么样了か？

私は、前号でも書いたとおり、キャンプを始めました。60代半ばになって、まさか自分がキャンプを始めるとは思いませんでした。職場のファミリーがいたからこそ出来た、新たなチャレンジでした。



そして、もうひとつ、一昨年不漁で食べることができなかった、須佐男命イカを食べることができました。透き通って甘いイカ刺しとゲソの天ぷらは、最高のご馳走でした。今回は角島まで行く元気は出ませんでした。コバルトブルーの海は満喫でき、「コバルトブルーとイカとバイク Part2」は無事終了することができました。晴れた日の国道191号線は、本当におすすめのルートです。

今年は、どんなことにチャレンジできるか、無茶の出来ない年齢になっているので、残された気力と体力を温存しつつ、新たなことにチャレンジできるよう、自分に投資していきたいと思えます。

みなさんの今年、どんな年になるでしょうか？

みなさんが、いっぱいチャレンジしている時でも、自分のペースでちょっとずつ進んでいる時でも、前に進めなくなって踏みとどまっている時でも、ひょっとしたらバックするしかなくなった時でも、どんな時でも、支援センターファミリーとして、みなさんとつながり続けられることを願っています。

今年もよろしくお願いいたします。

センター長 安永 統

火曜日のハートフルサロン (毎月第2～第4火曜日 13時～15時)

のんびり もぐもぐ
まったり もぐもぐ



ハートフルサロンは、おもに精神障害をお持ちの方や、対人関係に苦手意識があり引きこもりがちな方を対象に、行っています。

11月21日のサロンでは、2年前のサロンでみんなで作ったロケットストーブの点検をかねて、石焼き芋を食べる会をしました。

ダッジオープンで石焼き芋が焼きあがるまで、ロケットストーブでお湯を沸かしてコーヒータイムと焚火でウイナー・焼きマシュマロタイム。

最後は、おいしく焼きあがった焼き芋をのんびりもぐもぐ、まったりもぐもぐ、とても贅沢な時間が過ぎていきました。

こじこじ

2023年11月12日(日)

三次市障害者支援センター講座(第2回)を開催しました。

サポートが必要な人への支援のヒント

～ユニバーサルデザインによる支援を中心に～



講師 特別支援教育ネット代表
宇部フロンティア大学臨床教授

小栗 正幸さん

講演会後には、小栗先生との交流会を行い、普段感じている困りごとについての質問を受けてもらいました。先生の捉え方と支援の手段を聞いていると、困りごとに抱いていたネガティブな気持ちが整理され、みなさんの表情が和らいでいったのが印象的でした。

また、講師にお招きし、色々なお話を聞きたくなりました。(みっちー)

ユニバーサルデザイン(すべての人が使用することのできる)の原則に基づいた、相手との具体的なやり取りの方法について、学びました。

参加者からは、「具体的な声かけの仕方が分かりやすく、すぐに実践できるものだった。」「ユニバーサルデザインの基本を学び、その上で支援の実際を学べてよかった。」「改めて気づく内容が多かった。」などの感想がありました。



わたしの漢字

2023年の漢字は「税」でしたね。

私、さっさんの2023年を漢字一文字で表すと、「変」です。4月に三次市障害者支援センターが三次市社会福祉協議会の一部へと組織が変わり、5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、3年間の閉塞的だった空気感から、全国的にイベントも再開し、街中の雰囲気も変化。三次市内では旧CCプラザがフレスポ三次プラザに生まれ変わり、チェーン店のオープンが続くなど、街の様子も変化しつつあります。我が家では小2の息子が野球を始めたことで、家族の生活リズムが一変!!と、いろんなことに変化を感じる事が多く、ワクワクもありながら戸惑いもあり、身体と気持ちがついていかない時もありました。

そんな時に、いろんな変化の中にも安定を求める自分もいて、変わらない、変えないことも大切なんだと改めて感じた一年でした。

みなさんはどんな2023年でしたか？

2024年、新たな1年がスタートしました。辰年には、「運気の上昇」「景気が上向く」などの言い伝えがあるようです。

もう良い一年になる予感しかありませんね♥



さっさん